

子どもが安心して学べる学校

いじめを許さない学校

思いやり溢れる学校

基本方針

- *いじめはどの子にも、どこでも起こりうるという認識のもと、児童理解を深め、全職員で情報を共有することで「いじめのない学校づくり」を目指す。
- *いじめは人間として絶対に許されないということを児童に伝え、学校全体でいじめ0を目指していくことを確認する。
- *職員、保護者、地域が連携し、情報を共有しながらいじめの根絶に向けて取り組む。
- *教育活動全体を通して子どもたちの自己指導力と自尊感情を高めることを大切にし、自他共に尊重し、互いに高まっていく心を個々に育てる。
- *「授業で人を育てる」「ピアサポート活動の推進」を柱とし、日常的に思いやりの心、共感的にかかわる心を育てていく。

【未然防止】

- *道徳教育や人権教育の充実
- *ピアサポート活動の充実
- *一人一人の自己指導力・個の存在感を高める
- *家庭での教育力を高めるようなはたらきかけ
- *情報教育の実施
- *ソーシャルスキル等を学ぶ機会を計画的に取り入れる。
- *家庭環境の安定を図る
- 昨年度の取り組みの評価 —
- ・上記の中でも特にピアサポートの充実等が機能して未然防止につながっていると考える。

【早期発見】

- *年3回の学校生活アンケートを実施
- *年1回担任と子どもの面談を実施
- *相談機能の充実
(相談室の開放、カウンセラーや相談員による聞き取り等)
- *保護者との連携
- 昨年度の取り組みの評価 —
- ・保護者との緊密な連絡や学校生活アンケート等により、いじめに発展する以前にトラブルの段階で発見できることが多かった。

【早期対応】

- *いじめが起こった場合、直ちにいじめ対策委員会を開き、学校組織・学校全体として対応にあたる。(情報収集、保護者対応等)
- *関係児童や保護者に、丁寧に誠意をもって対応し、いじめ解決に向けて取り組む。
- *把握したいじめについては、直ちに教育委員会に報告し、必要に応じて関係機関と連携して対応していく。
- 昨年度の取り組みの評価 —
- ・早期発見できることが多かったため、問題が大きくなる前に指導できることが多かった。

【PTAや地域との連携】

- *PTA総会等で「いじめ」について話をし保護者の理解を深めるとともに、学校と家庭が連携していじめ根絶に取り組んでいくことを確認する。
- *朝のあいさつ運動や下校時の見守り活動において子どもたちに声をかけたり、見守っていただいたりする。
- *民生委員・主任児童委員との連絡会で情報交換を行う。

【児童生徒が自ら考える場・機会の設定】

- *道徳の授業の充実
- *学級活動で「めざすクラスの姿」等を話し合う。
- *児童会からの呼びかけ・提案
「いじめ0」「みんなが仲のよい、笑顔あふれる青小」「あいさついっぱい青小」等

【いじめ対策委員会】

- 委員
校長・教頭・主幹教諭・生徒指導主任・養護教諭・学年主任・特別支援学級主任・主任児童委員・スクールカウンセラー・学校支援相談員・スクールソーシャルワーカー

【職員研修・指導体制】【取組等の点検】

- *生徒指導上の諸問題に関する研修会の実施
- *いじめの防止、早期発見、早期対応に関する資料等を配付し、職員のいじめ防止等のための資質能力の向上を図る。
- *日常的に子どもたちの姿を担当とその他の教職員とで情報共有していく。
- *学年会や運営委員会、教務会、生徒指導部会等で、児童のいじめにつながる気になるあらわれを話し合い、手立てを早めにつけていく。

【関係機関との連携】

- *教育政策課への報告、相談
- *子ども家庭課家庭児童相談係への相談
- *警察サポートセンターへの相談